

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 1月 6日更新

事務事業名	女性・子ども支援事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名 出口 美子
	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり		所属課	女性・子ども支援室	担当者名 境 真奈美
	施策の柱	59	相談支援体制の充実		所属班	女性・子ども支援班	(内線) 2320
予算科目	会計一般	款	項	目	事業連番	根拠法令	児童福祉法 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律
							成果優先度評価結果
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 27 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	女性・子ども支援室を設置し、併せて配偶者暴力相談支援センターの機能を持つことで、相談者の二次被害の防止を図ることができ、ワンストップ支援につなげることができる。また、地域で見守るネットワークを構築し、サポート体制の強化に努める。地域サポーター養成講座を実施し、「気づきの目」を養うとともに、地域の人々が自由に集える場所をつくり、サポーターによる支援(話を聴く)を行う。
【業務の流れ】	「女性・子ども支援室」の開設、サポーター養成講座の立案・実施
【主な予算費目】	職員手当等(時間外勤務手当)、旅費(費用弁償)、需用費(消耗品費・修繕費・燃料費)、役務費、委託料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	協議会からは、関係機関及び庁舎内での連携が必要であるとの意見がある。また、相談機関の周知が必要であるとの意見がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:新規
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
女性・子ども支援室の開設(相談事業) サポーター養成講座の実施 支援ネットワークの構築	相談・支援の継続 サポーター養成講座の実施 支援ネットワークの構築
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア:活動件数	件 小・中学校との連絡会及び緊急対応の時間外勤務手当の増
→ イ:サポーター養成講座の受講者数	人
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民(女性・子ども)	(単位)
	→ ア:18歳未満の人口
	→ イ:成人女性の人口
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
気軽に相談できる	(単位)
	→ ア:地域の活動拠点
	→ イ:
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠	
地域での見守りを実施し、気軽に立ち寄れる拠点をつくり、女性・子ども支援室と連携することにより、身近な場所で話を聴く体制をつくることで、気軽に相談できると考え設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
912	

(2)各指標・総事業費の推移	単位	実績(決算)		27年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 件			900	3,749	950	1,000	1,050	1,100
	イ 人			30	32	30	30	30	30
② 対象指標	ア 人			13,100	12,818	13,300	13,600	13,900	14,300
	イ 人			23,800	24,382	24,000	24,200	24,400	24,500
③ 成果指標	ア 箇所			1	0	2	2	3	3
	イ								
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源	千円			912	1,098	1,098	1,098	1,098
	(A) 事業費計	千円			912	0	1,098	1,098	1,098
(A)のうち指定経費	千円			0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円			258	0	800	800	800
人件費	正規職員従事人数	人			1	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間			200	480	400	400	400
(B)人件費計	千円			796	1,782	1,593	1,593	1,593	
トータルコスト(A)+(B)	千円			1,708	1,782	2,691	2,691	2,691	2,691

事務事業名	女性・子ども支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	女性・子ども支援室
-------	------------	-----	-------	-----	-----------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 サポーター養成講座の実施時期（11月～2月）が計画よりずれ込み貴地域の拠点を作ることができなかった。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 相談できる場所として認知されてきており相談件数、サポーター養成講座の受講者ともに達成できる見込みである。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 身近な相談場所として認知されてきており、相談件数も増加している。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 相談内容は様々であり、それぞれの相談内容に応じた知識が必要になり統廃合は難しい。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 資質向上の研修費や公用車の燃料費等のみの事業費であり削減余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 時間外の緊急対応等があり削減できない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 誰でも相談できる窓口であり公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政の手続きや制度についての知識も必要である。また、必要に応じて他団体と連携を図っており役割分担は適性である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

新たに相談窓口を設置したことにより職員もより深く相談者に関わることができるようになった。体制が充実したことにより相談件数も増加している。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p> <input type="checkbox"/>廃止   <input type="checkbox"/>休止   <input type="checkbox"/>目的再設定   <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携   <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)  <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善)   <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)  <input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)         </p> <p>気軽に相談できる場所として必要であるが、多様な相談に対応するため体制の整備が必要である。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <p>相談件数も増加しており、専門知識を持った職員の配意が求められる。</p>																						